

ハマの屋台PJ Hama no Yatai



関内・関外地区

11/3 「かんないテラス」参加の様子



常盤台地区

1/20 「ほどわごん3号機 移動中の様子」



12/4 「大通り公園」に、よみみらしよう。」参加の様子



1/26 「ほどわごん3号機お披露目ウィーク」の様子

移動式屋台がまちの中につくる空間の可能性をさぐる Discovering the possibilities of spaces created by mobile stalls

まちの賑わいを生み出すツール「ほどわごん」の提案以来、活動地域の需要や状況に合わせた移動式屋台の製作と運用を行ってきました。今年度は、新型コロナウイルスによる活動規制が緩和された11月以降、約1年半ぶりに現地活動が実現したため、昨年度以降参加したメンバーとともに屋台の可能性を肌で感じる機会を重視しました。

今年度は、計31名のメンバーを常盤台と関内の2チームに分け、それぞれのフィールドで活動しました。関内・関外地区においては、11月3～7日に行われた「関内外OPEN!13」への参加をはじめとして関内桜通り・大通り公園と、様々な場所へ活動を展開しました。常盤台地区においては、常盤台の地域を街歩きし、街で屋台を使って何ができるかの可能性を話し合いました。

関内・関外地区においては、引き続き「関内わごん」を用いた空間づくりを模索するとともに、コンパクトで使いやすい新たな屋台の制作も検討しています。常盤台地区においては、以前製作し、運用してきた「ほどわごん」を再始動し、既存屋台の屋根作りのワークショップを企画し街の人と一緒に制作し、使っていくことを考えています。

また、相鉄線南万騎が原駅近くのまちづくり拠点「みなまきラボ」にて運用されている「みなまきわごん」の2号機制作も予定しています。

■学生：31名（氏名 若原歩花、小野寺陽香、高橋健、西尾昂紀、的羽祐奈、御園茜、東由佳、江藤克、田辺彩、樋口健太、三浦萌夕、奥村真妃、齋藤佳奈、平原裕大、矢崎駿太、相澤実咲、新井里和、大木諒音、尾崎龍樹、樫本和奏、梶遼太郎、菊池優太郎、佐藤那津、田上渉、田中智章、田中もも、田村美侑、松井日咲、若林孝太、渡辺凜、キム・ボミン/
担当教員：野原卓准教授）

■連携・協力：常盤台地区連合町内会、みなまきラボ、ゆたかなイばしょ運営委員会

■活動地域：常盤台地区、関内・関外エリア、相鉄線南万騎が原駅周辺

■サイト：<https://www.facebook.com/hamanoyatai/>